閉経後乳がん患者さんの骨粗鬆症に関する臨床研究

ご協力のお願い

研究責任者　所属：乳腺外科　職名：部長　高島 勉
担当者　所属：看護部　職名：看護主査　谷村 敬子

この度、閉経後乳がんにてホルモン治療を受けられる患者さんを対象に、アンケートおよび診療情報を用いた下記の研究を実施いたします。
患者さんのプライバシー保護には十分配慮して研究を行います。
本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を 0745-32-0505　乳腺外来までご連絡ください。

1. 対象となる方

当センターで 2026 年 10 月 1 日から 2027 年 2 月 28 日までに受診し、ホルモン治療を受けている閉経後乳がん患者さん、もしくは当センターで治療を開始した後、かかりつけ医で治療を継続されている患者さんを対象とします。

2. 研究テーマ

閉経後乳がん患者における FRAX を用いた骨折リスク評価
FRAX とは：
世界保健機関（WHO）の国際共同研究グループが作成したプログラムで、40 歳以上を対象に、骨粗鬆症による骨折が今後 10 年のうちに発生する確率を計算するものです。

3. 研究機関

奈良県西和医療センター乳腺外科外来

4. 本研究の意義・目的・方法

乳がん患者さんに対するホルモン療法により、治療成績の大幅な向上が得られている一方で、治療の影響で骨粗鬆症や骨折のリスクが高くなることが知られています。

現在、当センターにおいて多くの乳がん患者さんにホルモン療法が行われており、治療期間は約 5 年から 10 年に及びます。女性は男性よりも骨粗鬆症になりやすく、ホルモン療法によりさらに骨粗鬆症や骨折のリスクが高くなる可能性があります。

本研究では、ホルモン療法を受けている閉経後乳がん患者さんの骨折リスクを FRAX を用いて評価し、骨粗鬆症予防や骨折予防につなげることを目的としています。
また、今後の患者さんへの情報提供や支援に役立てるため、骨粗鬆症や骨折予防について知りたいこと・相談したいことについてもお尋ねします。

5. 協力をお願いする内容

質問紙によるアンケート調査と、診療録、検査データを電子カルテから閲覧します。
アンケートでは、FRAX による骨折リスク評価に必要な項目に加えて、今後の患者さんへの情報提供や支援に役立てるため、骨粗鬆症や骨折予防について知りたいこと・相談したいことについてお尋ねします。
診療録からは、年齢、乳がんの治療期間、ホルモン治療の内容・期間、骨密度検査の結果、骨粗鬆症治療薬の使用状況などを確認します。

6. 研究期間・登録期間

研究期間：倫理審査委員会承認後から 2027 年 12 月 31 日まで
登録期間：倫理審査委員会承認後から 2027 年 2 月 28 日まで

7. プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、匿名化データとして使用します。
患者さんの個人情報と匿名データを結びつける情報は、研究担当者が研究終了まで厳重に管理し、研究実施に必要な場合にのみ参照します。研究終了時には完全に抹消します。

本研究への協力は自由意思によるものであり、協力されない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。

本研究への協力を望まれない場合は、0745-32-0505　乳腺外来までご連絡ください。